

【記入例】

採 用 者 給 料 査 定 書

太枠で囲んだところのみ記入する

平成9年1月1日以
降の臨時的任用時の
職員番号

令和7年4月1日
現在の満年齢

高等学校から記入、
大学は専攻学科まで

留年、浪人の期間も
職歴欄（1行目）に
入れる

アルバイトか正式
かを記入する

臨時的任用の場合は
講師と記入する

非常勤講師で同じ期
間に2校以上勤務し
た場合

非常勤講師の場合は
1週間あたりの授業
時間数を記入する

月1日の初任研補充
も記入する

番号	所属コード 学 校 名	職 名	職 員 番 号 氏 名
※	※		→319367 和歌山 太郎
生年月日 (昭和)・平成57年 8月13日生 42歳			
修 学 歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数
	〇〇高等学校 普通科	H13年 3月 卒・修	3 年
職 歴	〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H18年 3月 卒・修	4 年
	勤務場所(職務内容)	期 間	勤続年数
歴	浪人	H13年4月～H14年3月	1年 月
	〇〇〇株式会社(正式)	18年 4月～22年 3月	4年
	〇〇小学校(講師)	22年 4月～22年 7月	年 4月
	在家庭	22年 8月～22年 8月	年 1月
	〇〇小学校(講師)	22年 9月～23年 3月	年 7月
	〇〇高等学校(非常勤講師週2h)	23年 4月～25年 3月	2年 月
	〇〇高等学校(非常勤講師週6h)	年 月～ 年 月	年 月
	〇〇高等学校(非常勤講師週8h)	25年 4月～26年 3月	1年 月
	〇〇高等学校(初任研補充月1日)	年 月～ 年 月	年 月
	〇〇中学校(講師)	26年 4月～27年 3月	1年 月
在家庭	27年 4月～28年 9月	1年 6月	
〇〇中学校(講師)	28年10月～R7年 3月	8年 6月	
合 計		20年 月	

戸籍上の氏名を正確に記入する

正規の修学年数を記入する

- 職歴は、卒業から令和7年3月31日（令和7年4月以降作成の場合はその時点）まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。
- 月の途中まで在家庭でその後採用された場合、その月は採用の方に入れる。
- 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
- 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。
- 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名のうえ、右上をステープラー止める。